

## アベノバシ半径 2km プロジェクト

### アベノバシ半径 2km プロジェクトの会

#### ■活動内容

この活動は、大阪市天王寺区と阿倍野区の境にある阿部野橋を中心点として、そこから半径 2km の範囲を対象とする。この地域は、歴史的には大阪市南郊の周縁部にあたる。メンバーは、地域の歴史・地理・美術・民俗・産業などを調査・研究した。そして、その成果をトークセッションやフォーラムなどを通じて一般の方々に分かりやすく伝え、地域の過去・現在・未来を考える活動を行った。

#### ■コンセプト・ねらい

アベノバシ半径 2km のエリアには、上町台地もあれば、その西側の低地もある。それぞれの地域で育まれた文化や生業にも違いがある。このエリア全体が社会的・文化的な多様性に富んでおり、大阪市の縮図ともいえる。このことをバー形式のトークセッションや、コースを決めない街歩きなどを通して、参加者と自由に考えていった。

#### ■活動実績

2025 年3 月 20 日：キックオフミーティング

4 月 29 日：半径 2km フィールドワーク①（対象地域全般）

5 月 12 日：研究会①（歴史地理）

6 月 11 日：研究会②（民間信仰）

7 月 22 日：半径 2km フィールドワーク②（美術史）

8 月 11 日：研究会③（近世史）

9 月 1 日：四天王寺障壁画調査（矢野橋村作品）

9 月 15 日：研究会④（美術史）

10 月 26 日：イタチバー①「鼬川のブルースが聞こえるーアベノバシ半径 2km とは何か？ー」  
（各回、記念品のコースターを配布）

11 月 24 日：イタチバー②「天王寺モダン夜話ー大大阪で花開いた矢野橋村と大阪美術学校」

12 月 21 日：イタチバー③「大阪ウェットランドダイバーー大阪低湿地文化論序説ー」

2026 年2 月 8 日：半径 2km のマチアルキ（スタート：木津川駅・桃谷駅、ゴール：イチノジュウニのヨン）

3 月 8 日：フォーラム「アベノバシ半径 2km の現在×過去×未来ー鼬川と大阪美術学校を中心に」

#### ■成果・効果

研究面の成果としては、さまざまな専門分野の研究者が集ったことにより、対象地域がもつ歴史的・文化的特性が明らかになってきたと考える。特に、四天王寺とも関係がある鼬川（いたちがわ）にまつわる伝説と歴史、低湿地の農業や民間信仰のありさま、上町台地に花開いた大阪美術学校をはじめとする美術史的展開など、これまで見逃されがちだったテーマを探究できた。

効果としては、上記の内容をトークセッション「イタチバー」やフォーラム、街歩きによって、一般の方々へ伝えることができた。特に「イタチバー」は、肩の凝らないディスカッションができる場として、新たなサードプレイスを形成することができた。また、これらの参加者は地元の方に加えて、エリア外から参加する方が多く、関係人口の発掘ができたと考えている。

また、活動において取得した矢野橋村の掛け軸は、研究対象となる一次資料として、様式分析および制作技法の検証に活用した。本資料は橋村が校長であった大阪美術学校在籍時の制作で、当時の作風や教育的背景を具体的に示す点で重要な資料である。研究会において筆致、墨色、構図、落款・印章、裏打ちの状態等について実物観察を行い、既存の図版では把握が困難であった細部の情報を記録・整理した。これにより、同作家および同時代の他作例との比較検証が可能となり、作品理解の精度が向上し、分析結果の妥当性が担保された。展示・解説の機会（2025年11月24日、2026年3月8日）においても活用し、実物資料に基づくことで、図版では伝えづらい表現要素についての理解を参加者に促した。さらに活動報告書に掲載することで、当該資料についての分析内容を記録・共有した。

## ■今後の展開

次年度も、当該地域に関する研究を深めることは大前提であるが、その成果を多くの方々に伝え、ともに語り合える場を作っていきたいと考えている。そのために、今年度行った手法以外に、イベント的な要素や展示などにも取り組みを広げたい。

ベースになる考え方として、サードプレイスの形成を念頭に置き、職場・学校や家庭とは違った「第三の場」において、気の置けない関係性のなかで情報発信やディスカッションを行っていききたい。

また、参加者については関係人口をキーワードとして、「地元の方＋地域外の方」が参加するイベントを実施して、地域の活性化につなげたい。対象地域は、今年度あまり触れられなかったエリア東部や南部にも目を向けていきたい。



四天王寺 障壁画調査



イタチバー（第2回）



半径 2km のマチアルキ



フォーラム

**Itachi BAR**  
アベノバシ半径2km スロプロジェクト

## イタチバーにようこそ！

会場 イチノジュウニのヨン（大阪市西成区山王1-12-4）  
定員 10名（事前申込みノ先着順）  
参加費 1,000円（1ドリンク、おつまみ付き）  
※そのほかの飲食は実費

**イタチバー 1** 10月26日（日）14:00-17:00  
いたち町の  
鶴川のブルースが聞こえる  
ーアベノバシ半径2kmとは何か？ー  
船橋祥史（都市論、大阪大学総合学術博物館）、  
船橋未来（日本近世史、大阪歴史博物館）

**イタチバー 2** 11月24日（月・振休）14:00-17:00  
天王寺モダン夜話  
ー大大阪で花開いた矢野橋村と大阪美術学校ー  
内岡 聡（日本美術史、石川福五美術館）、  
斎藤山祥子（日本美術史、大阪大学総合学術博物館）

**イタチバー 3** 12月21日（日）14:00-17:00  
大阪ウエットランドダイバー  
ー大阪低湿地文化論序説ー  
佐 組馬（民俗学、大阪歴史博物館）、  
船橋祥史（都市論、大阪大学総合学術博物館）

申込方法等、詳細は裏面をご覧ください。  
主 催：アベノバシ半径2kmスロプロジェクトの会  
※本スロプロジェクトは、元来文化財団「昭和40年代大阪文化財団」を継承して  
います。

イタチバーとは：  
イタチバーは、同部野橋から半径2kmのエリアにある文化・歴史などを自由に語り合う場です。  
主催はアベノバシ半径2kmスロプロジェクト。ジャンルにとわらず、地域のこと、昔のこと、今のこ  
ちよつこにならなごこと……いろいろな話題を持ち寄って、楽しく飲みながら語り合います！

豊能高正野州大阪新聞 文化3年（1906）

イタチバーちらし

上町台地の上と下を語り尽くす

## アベノバシ半径2kmの現在×過去×未来

フォーラム  
鶴川と大阪美術学校を中心に

参加費 無料

日 時 2026 3/8（日）  
13:30～16:00  
（開場13:00）

場 所 リンク大阪  
岸線野田ビル1-1・10階（東区）

2026年3月8日（日）13:30～16:00  
（開場13:00）

定員 80名（事前申込み、先着順）

主 催 アベノバシ半径2kmスロプロジェクトの会

この催しは、元来文化財団が昭和40年代大阪文化財団を継承しています。

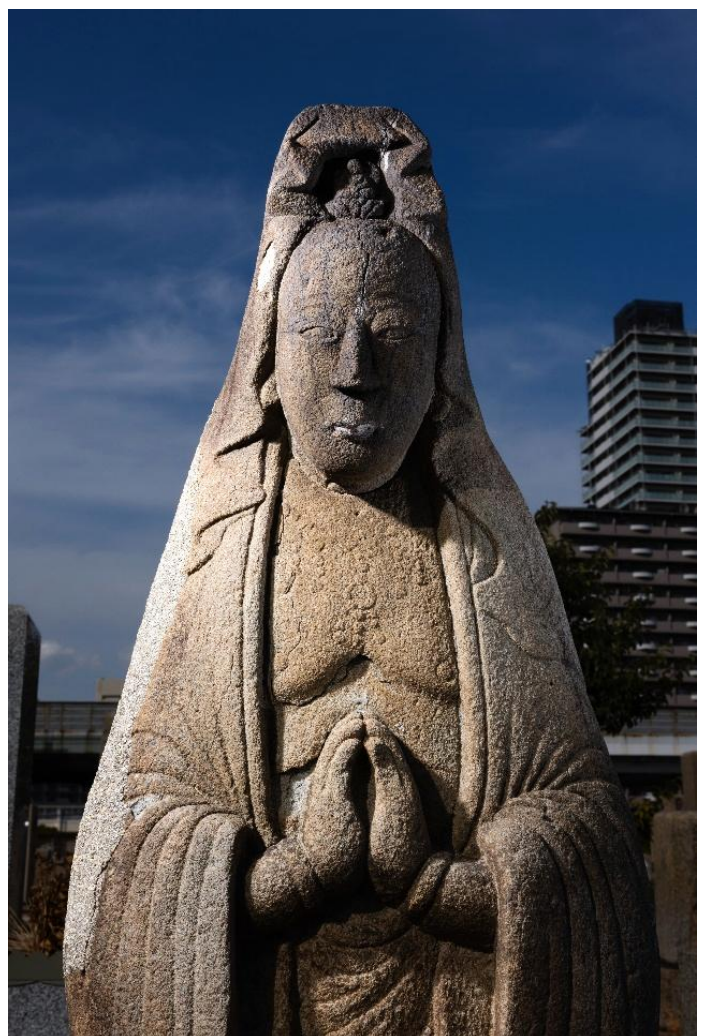
フォーラムちらし



イタチバーの記念品・コースター



(研究資料)  
矢野橋村 (大阪美術学校 初代校長)  
「松下高風図」(昭和初期)



(対象地域撮影の一部)  
地域に残る石仏 (撮影・麥生田兵吾)